

鵜戸

謹賀新年




(表) 日向國住國正謹作之
平成二十三年八月吉祥日

(裏) 自古鵜戸神宮有靈刀謂鵜丸太刀
此度基之新鍛鍊而名平成鵜丸太刀



平成の鵜ノ丸太刀

平成二十五年神宮式年遷宮



遷宮で結ぶ人の輪 心の輪
第六十二回神宮式年遷宮

謹んで新春のお慶びを 申し上げます



宮司 本 部 雅 裕

皇紀二六七二年の新年にあたり、皇室の弥栄を心からお祈り申し上げます。

また、氏子の皆様をはじめ、全国の崇敬者の方々にはお健やかに新春をお迎へのことと存じます。本年が皆様にとりまして益々良い年でありますやう祈念申し上げます。

さて今年、「古事記」が元明天皇の和銅五年（西暦七一二）に編纂されました。この書は、わが国に現存する書物では最古の歴史書でありますとともに、教典を持たない「神道」にとりまして、他の『日本書紀』などとともに、「神典」ともいふべき大切な書物でございます。古事記は、元明天皇の先帝、天武天皇が太安萬侶に命じ、舎人の稗田阿礼に誦習させてゐた帝記（歴代天皇の名・皇后・重要な事績などの記録）と旧辞（神話・伝説・歌謡などを中心とした記録）とを筆記してまとめ、完成したものであります。それは三巻からなり、上つ巻は神代の世界が描かれ、中つ巻は人皇第一代神武天皇から始まり一五代応神天皇まで、下つ巻は一六代仁徳天皇より

三三代推古天皇まで、人皇代の皇統譜として記されてゐます。

この書の編纂の目的は、第一として「古を稽へて・・・今に照らして・・・」と、その序に明確に記してあります。つまり、神代から歴代の天皇の事績を顧みる時（稽古）、道徳がすでに崩れてゐるのを正しくし、現今の状況を見定め（照今）、人間の正道が絶へようとするのを補ふとするものでした。この「稽古照今」の考へ方は、今の現に生きる我々日本人の生き方に大いなる指針を与えるものであると、私は思ひます。もつと分かりやすく言ひ表しますと、「古きを温ねて新しきを知る」といふことでせう。

その第二は、「邦家の経緯、王化の鴻基」、つまり国家組織の根本と天皇政治の基盤を明らかにすることになりました。我が国の起りは高天原に始まり、天照大御神の御心のまにまに、歴代天皇が治定あそばされる国柄であることを明記したのです。

私たちは、記念すべき古事記編纂一三〇〇年を迎へた今、先人から受け継いできた千古の歴史に学び、その底に流れる一貫した伝統を尊重しつつ、今日及び将来のために日本人の生き方を明らかにして行かなければなりません。

ところで、その上巻はほとんどが日向の国を舞台にしてゐます。伊邪那岐神の禊祓や、天孫降臨、海幸彦・山幸彦の神

話など日向の聖跡が次々と描かれます。そして上巻の最後に当神宮のご祭神、天津日高日子波限建鶺鴒草葺不合の命が登場されます。命の母君豊玉毗売の命は海神の女であつたため、天つ神の御子は海原で生んではならないと、海辺の波打際に鶺鴒の羽をもつて草葺にして産殿をお造りになります。ところがその産殿がまだ葺き終へないうちにお生まれになったことから、この神名が付けられたとあります。命はその後、姨である玉依毗売の命を娶られ、四柱の御子が誕生します。そのお一人が神倭伊波礼毗古の命、神武天皇です。このやうに命は、神代の最後の神として、神々と人皇とを結ぶ重要な接点としての地位を担はれてゐるのです。

そして、古事記中巻はその人皇第一代神武天皇の東征から始まり、壮大な建国神話がつづられて行きます。

私たちは、このときにあたり、古を稽へて今に照らす生活態度と、我が国は神の国であり、歴代天皇がお治めになられる国柄であるとの意識を、しつかり堅持した生き方をして行く必要があります。

今年も、神話の世界が今に生きる日向の国へ、そして鶺鴒草葺不合の命のご誕生の聖地鶺鴒戸神宮へ、どうぞお出で下さいますやうご案内申し上げます。

（参考）新潮日本古典集成『古事記』

御神宝「平成の鶺鴒ノ丸太刀」 ご神刀奉納奉告祭

十一月二十三日、日向市在住の刀匠松葉國正氏よりご神刀の奉納をいただいた。氏は、数々の名刀を誕生させてゐる名匠。宮司とご縁も深く、その名は全国に知れ渡つてゐる。

当神宮にはご神宝「鶺鴒ノ丸太刀」が存在したが、戦後の混乱期、行方が分からなくなり、現在までその姿を見ることができなかつた。宮司は、常よりこの事態を憂ひてをりましたが、この度文献と写真を元にその再現を松葉氏へ依頼。協議の後、ついに匠の技が再び世に名刀を生み出す時を迎へることとなつた。

宮司によつてこのご神刀は「平成の鶺鴒ノ丸太刀」と命名され、当神宮の重要な御神宝として護持されます。



各種祭典

新嘗祭【新穀感謝祭】

十一月二十三日、今年収穫された新穀や生産物を神々に捧げ、神々のご加護によって生産出来たことを喜び、産物を得られたことに感謝する祭典が斎行された。

鵜戸小中学校三・四年生の生徒六名が昭和五十年より受け継がれてきた子供神楽を奏舞し、華やかな祭典となった。

- 神の舞
高橋紅愛
秋穀の舞
関屋幸太郎
濱砂朱里
えびすの舞
山根健治郎
谷越香南
鈴の舞
高橋紅愛
根木あぐり



夏越の大祓式

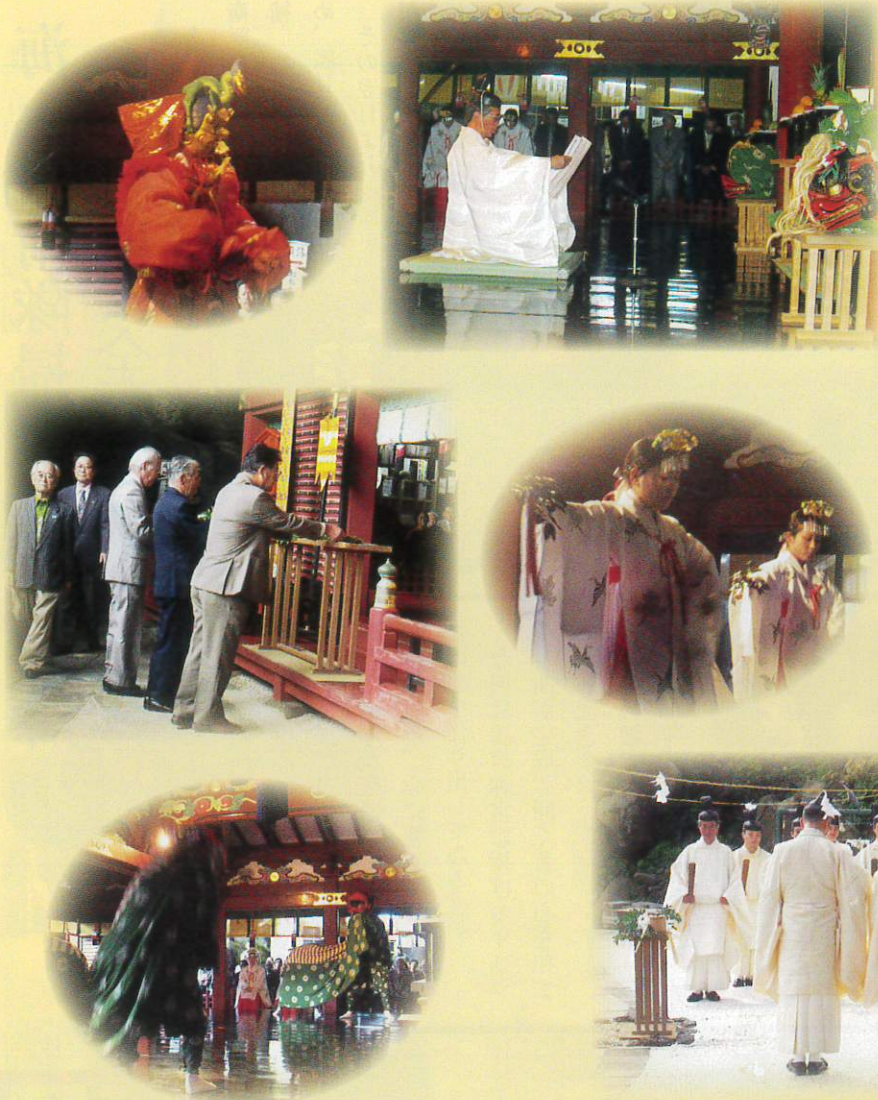
六月三十日午後三時より大祓式「夏越の大祓」を斎行。

日常生活のなかで知らず知らずにかかった大小の災難や穢れ（気枯れ）を祓ひ清め、明るく平穏な日々を送るための大事な年中行事のひとつである。



明治祭・秋の縁日大祭

十一月三日、午前十時三十分より斎行。奉祝行事として舞楽「蘭稜王」・「豊栄の舞」・「鵜戸さん獅子舞」が奏舞された。



恵比須神社 遷座祭

十一月十一日、午後五時より清祓祭、午後六時より遷座祭を斎行。

永年地区の方々により大切にお祀りされてきたが、境内社として稲荷神社横に御鎮座された。



第三回 鵜戸さん寄席

十月十六日、午後四時三十分より開演。さん枝師匠の巧みな話術により、をかしく楽しい充実した時を堪能。第一回より毎年来場されてある方も多く、鵜戸さんの恒例行事として浸透してある。

プロフィール

柳家さん枝

宮崎県新富町出身。昭和四十三年桂文楽に入門。昭和四十四年桂文吉で前座。その後柳家小さんの門下となり、柳家さん枝で二ツ目に昇進。昭和五十七年柳家さん枝で真打ちに昇進。

「時そば」「初天神」「代書屋」「長屋の花見」など古典落語を得意の断として東京を中心に活躍中。落語の魅力を多くの方に広めてをります。



海上自衛隊掃海隊 航海安全参拝

十一月八日、海上自衛隊掃海隊群司令海將補 福本出氏をはじめ、艦長、隊員が参拝。その翌日より、艦艇が境内より見渡す海原にて掃海訓練を実施した。



音楽師 ロン氏・トモ氏 奉納演奏

十月十八日、鵜戸神宮で二回目となる奉納曲が演奏された。全国の社寺を中心に廻り、自身で感じとつた言葉で表せない感性を、雅楽器や様々な楽器を用いた癒しの音色で表現。心に響くすばらしい音の葉を作り出してゐる。



年末点描

辰年絵馬作成

辰年絵馬の題字

「古を稽へて 今に照らす」



平成十一年の卯年より始まった干支絵馬作り。この絵馬は楼門上部中央に設置され、参拝者は絵馬の下を通り、御本殿へと足を進める。大きさは一八〇×一二〇cmの真っ白な画板に、先を鋭く見つめ、ときに優しいまなざしで見守る躍動ある絵馬へと造りあげていった。絵馬の掛け替へは、毎年十二月二十七日に行ひ、翌年の十二月まで設置してをりますのでご参拝の節にはどうぞご覧下さい。

社務日誌抄

- 1月1日 歳旦祭
- 1月12日 責任役員会
- 1月18日 別表神社宮司会
- 1月26日 新燃岳噴火
- 2月1日 例祭
- 2月6日 第58回剣法発祥大会(体育館)
- 2月7日 第39回鵜戸神宮奉納四半的弓道大会(海洋センター)
- 2月8日 若潮船主協会参拝
- 2月11日 紀元祭
- 2月14日 巨人軍高橋由伸選手参拝
- 2月16日 広島東洋カープ必勝祈願参拝
- 2月16日 日南警察署長黒木典明氏参拝
- 2月23日 宮崎市支部神職総代会参拝
- 2月27日 鵜戸小学校閉校式
- 3月1日 末社九柱神社仮
- 3月6日 千葉県八街神社大野宮司他参拝
- 3月11日 東日本大震災発生(M9)
- 3月18日 殿遷座祭
- 3月18日 御田植祭
- 3月9日 宮内庁桃山陵墓課長他三名参拝
- 3月26日 杉本和夫氏他燈籠奉納奉告祭
- 3月27日 第25回シヤンシシヤン馬道中唄全国大会決勝第25回シヤンシ
- 3月27日 第25回シヤンシ
- 4月3日 「U-DOOR」
- 4月6日 宮崎大学へ図書寄贈
- 4月17日 浅草神社池田孝史氏他参拝
- 4月28日 九柱神社遷座祭
- 5月4日 中野神社日高宮司他参拝
- 5月5日 節句祭・いさみ太鼓奉納
- 7月20日 抜穂祭
- 8月17日 五神宮宮司会
- 10月16日 柳家さん枝「鵜戸さん寄席」
- 10月18日 音楽師ロン氏他
- 10月20日 九州市長会参拝
- 11月7日 宮内庁桃山陵墓監区事務所今西氏他参拝
- 11月8日 海上自衛隊掃海隊航海訓練安全祈願参拝
- 11月9日 東郷神社宮司嶋田耕一氏他参拝
- 11月23日 新嘗祭
- 12月31日 大祓式・除夜祭



賀正

- 宮司 本部 雅裕
- 権宮司 中武 信明
- 禰宜 河野 博文
- 禰宜 伊東 健治
- 禰宜 湖田 賢二
- 禰宜 中原 慎太郎
- 禰宜 高橋 嘉樹
- 禰宜 磯野 英志
- 禰宜 佐師 慶保
- 出仕 草場 裕之
- 出仕 安藤 祐一郎
- 巫女 徳地 亜紀
- 巫女 井上 さゆり
- 巫女 荒武 美成
- 巫女 福山 詩織
- 巫女 松本 しおり
- 巫女 川口 真美
- 巫女 猪崎 ころ
- 衛士 湯浅 好一
- 衛士 長友 英樹
- 衛士 後藤 秀樹
- 衛士 川瀬 静
- 宮務員 南 初代
- 宮務員 清美 代子
- 宮務員 川 敏子

命 名

大阪府 白鳥 虎志 様

(十一月二十一日生)

日南市 宮園 光 様

(三月二十二日生)

宮崎市 長友 光那実様

(九月十五日生)

串間市 仁田 裕真 様

(十月二十日生)

ご結婚おめでたう
いびいます

宮崎県 久島 道弘 様

茂岡 まみ 様

東京都 井上 智紀 様

仙波 多栄 様

東京都 荒川 聡 様

伊東 夕子 様

宮崎県 日高 利勝 様

坂部 綾 様

(六月四日)

宮崎県 日高 浩司 様

杉元 美香 様

宮崎県 宮本 俊介 様

高野 恵子 様

宮崎県 乾 純治 様

遊佐 晴子 様

宮崎県 川口 祐企 様

久澄 真未 様

宮崎県 上村 忠弘 様

山脇 由布子 様

東京都 長崎 剛志 様

朝日 陽子 様

宮崎県 原衛 悦和 様

平山 典代 様

(十二月一日)



ご 案 内

西洋楽器と雅楽 の融合演奏会

来たる四月二十七日・
二十八日夕刻より、二回目
となる西洋楽器と雅楽の
融合音楽祭「U・D・O・O・R」
が開催されます。

来日して早二十年を迎
へたイギリス人作曲家デイ
ビットは、武道も嗜む音楽
家。剣法発祥の地である神
秘の空間「鵜戸神宮」に
思ひを馳せて作り上げた曲
を、ぜひ一度聞いてみて下
さい。詳しくは鵜戸神宮に
お問ひ合はせ下さい。



六月(夏越の)大祓

六月三十日は、半年間
の日常生活で知らずにつ
いてしまった罪・けがれ
(気枯れ)を祓ひとり、元
氣に夏を乗り切るための、
古より受け継がれてゐる
重要儀式「夏越の大祓」
が行はれます。申込みご
希望の方は、お気軽にご
連絡下さい。

〇九八七(二九)一〇〇一



編集後記

○表紙の写真は、当神宮
の平成の歴史に名を刻む
名刀「平成の鵜ノ丸太刀」
です。

○苦難を乗り越えやうと
する力を秘めた卯の力強
い跳躍を引き継ぎ、新た
な年は眺めのよい空にゐ
る辰のやうに、周囲(過
去・今)をゆつくり見渡
してみるのはいかがでせ
うか。

○国の平安と、国民(お
ほみたから)の繁栄をお
祈りし、今年も皆様のご
参拝を職員一同心よりお
待ちしてをります。

(高橋嘉樹)

